

# 価値創造プロセス

リコーは、2025年に、はたらく場をつなぎ、はたらく人の創造力を支えるデジタルサービスの会社を目指しています。価値創造の方向性を「お客様価値の高まり」と「ワークプレイスの広がり」の二軸でとらえ、価値提供の範囲をさらに広げています。

## 外部環境

- ワークスタイル / ライフスタイルの変化
- デジタル化の加速
- 格差の拡大
- 脱炭素社会への移行
- サーキュラーエコノミーへの転換
- 人権問題 / サプライチェーンマネジメント要請
- ESG投資の活性化

## input

**リコーのDNA**

< リコーウェイ ① >  
三愛精神

×

お客様へ  
寄り添い続けること

**7つのマテリアリティ ②**

事業を通じた社会課題解決

“はたらく”の  
変革

生活の質の  
向上

脱炭素社会の  
実現

循環型社会の  
実現

経営基盤の強化

ステークホルダー  
エンゲージメント

共創  
イノベーション

ダイバーシティ&  
インクルージョン

**財務資本**

- ・ 資本金 1,353億円 (2021年3月31日現在)
- ・ 投資 M&A ③ 約3,000億円
- 経営基盤強化 約1,000億円
- 新規事業創出 約1,000億円

**知的資本**

- ・ 技術力 エッジデバイス開発・生産技術 画像処理、光学
- ・ グローバル共通サービス提供基盤(RSI)
- ・ 業種・業務のプロセス改革ノウハウ
- ・ 特許保有権利数 約4万件

**人的資本**

- ・ リコーウェイを体現するグローバル約8万人の従業員
- ・ IT関連従事者1万6千人
- ・ RPA教育受講者4千人 (RPA稼働プロセス1千件)
- ・ 新しい働き方を実践する社員 (Microsoft Teams™のチーム数 約5.5万)
- ・ 価値創造を加速する5つのビジネスユニットとグループ本部

**社会関係資本**

- ・ 世界約200の国と地域でのビジネス体制
- ・ お客様接点の信頼から得られる情報
- ・ グローバルに広がる約400万台のオフィスプリンティング機器と140万社の保守サービスでつながっているお客様基盤
- ・ 環境経営や事業活動で培ったブランド力
- ・ 提供価値を高めるパートナー

**製造資本**

- ・ 日、米、欧、アジア・パシフィックに広がる生産工場とものづくりノウハウ

**自然資本**

- ・ エネルギー投入量 3,665TJ
- ・ 総投入資源量 約31万t

## デジタルサービスによる

## EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES

お客様価値の高まり

- 新たな価値創造
  - ・ デジタルデータを蓄積しクラウド上のアプリやAIを通じた業務の高度化・自動化を提供
- 生産性向上
  - ・ オフィスの入出力デバイスを多様なラインアップで提供
  - ・ アプリ・パッケージをお客様の業務ごとに最適に組み合わせ提供

“はたらく”を変革する

グローバルの  
販売・  
サービス網

独自の  
エッジデバイス

デジタル

RICOH Smart Inte

※1 グローバル共通サービス提供基盤

事業ポートフォリオ管理 ⑥

人事戦略 ⑦

デジタル  
戦略 ⑧

技術・  
戦略

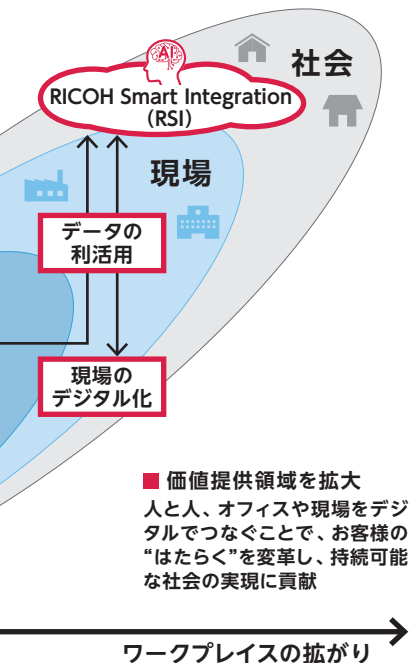
コーポレート・

● MORE 詳しくは本誌 ① リコーウェイP1 ② マテリアリティとESG目標P15-P16 ③ 資本政策の強化P39 ④ 人材P33 ⑤ 共創プラットフォームを支えるデジタル基盤技術P36 ⑥ コーポレート・ガバナンス体制P59-P68 ⑦ 20次中計P22 ⑧ 成長投資の方向性、株主還元の方針P39 ⑨ 2036年ビジョン「はたらく」に歡びをJP2

オフィス・現場のデジタル化により、オフィスと現場をつなぎ、ワークフロー全体を変革してお客様の生産性向上につなげます。さらには、データの活用により業務の高度化・自動化に貢献するとともに、それらを分析・解析することでお客様の期待を超える新しい価値創造を支援していきます。

価値創造プロセス

人とデジタルの力で、  
はたらく人やはたらく場をつなぎ、  
お客様の“はたらく”を変革



ドライバー（強み）

社内実践・導入事例      パートナーとの連携

人材 ④

RICOH Smart Integration (RSI) ※1 ⑤

企業価値向上に向けた経営リソース最適配置による事業構造の転換

ESG戦略      オペレーション戦略

ガバナンス ⑨

output

2025年全社経営目標

財務目標 ⑩

財務資本 ⑪

- ・ROE
- ・営業利益
- ・積極的な成長投資
- ・株主還元
- ・ROIC

将来財務目標 (ESG目標) ②

“はたらく”の変革

- ・お客様調査でのトップスコア率
- ・お客様への価値提供拡充度
- ・DXによる価値提供スキル保有人材

生活の質の向上

- ・生活基盤向上貢献人数

脱炭素社会の実現

- ・GHGスコープ1、2削減率
- ・GHGスコープ3削減率
- ・使用電力の再生可能エネルギー比率

循環型社会の実現

- ・製品の新規資源使用率

ステークホルダーエンゲージメント\*

- ・生産拠点のRBA認証取得
- ・サプライヤーの行動規範署名率
- ・国際的セキュリティ標準
- ・各パートナーからの評価スコア
- ・主要ESG評価のトップ評価獲得
- ・経済産業省「デジタルトランスフォーメーション銘柄」採用

共創イノベーション\*

- ・特許のETR (他社引用)スコア増加率

ダイバーシティ&インクルージョン\*

- ・RFGエンゲージメントスコア
- ・女性管理職比率

\* 2022年目標

outcome

Three Ps Balanceの実現

地球環境

環境負荷が地球の再生能力の範囲内に抑えられている

社会

誰ひとり取り残されない社会の実現

経済

社会課題解決と経済成長の同時実現

2036年ビジョン  
“はたらく”に  
喜びを ⑫

2025年  
はたらく場をつなぎ、  
はたらく人の  
創造力を  
支える

Task Workを減らし、  
Creative Workを  
支援する会社へ

Task Work → Creative Work

リコーは、  
あるべき未来を描き、  
今を変えていきます。

リコーグループは、地球環境・社会・経済の3つのP (Planet, People, Prosperity) のバランスが保たれている持続可能な社会の実現への貢献を前提に、事業活動を続けていきます。